

(注意事項)

- 解答状況を把握した上で、下記の観点に基づき、採点基準の例を参考にしながら、各学校において採点基準をつくること。
- 採点した結果が、配点のすべての段階にわたるように留意すること。
- 採点者は2名以上とし、各答案をそれぞれ2名以上で、20点満点で採点すること。
- 得点については、各採点の平均をとり、小数点以下の端数は四捨五入すること。

(観点)

- 指示された条件にしたがって、自分の考えが書かれていること。
 - 内容
 - 主題や要旨が明確であること。
 - 根拠や例示が的確であること。
 - 文章の展開が論理的であること。
 - 表記
- (14点)
- (6点)

(採点基準の例)

	S	A	B	C
内容についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> • 主題や要旨が非常に明快で、主旨を明確に読み取ることができ、きわめて説得力がある。 • 考えの根拠が妥当できわめて説得力があり、例示が非常に具体的で分かりやすい。 • 論理が非常に明確で、筋道を立てて構成されており、文章がきわめて円滑に展開されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主題や要旨が明快で、主旨を明確に読み取ることができる。 • 考えの根拠が妥当であり、例示が具体的で分かりやすい。 • 論理が明確で、筋道を立てて構成されており、文章が円滑に展開されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主題や要旨に明快でないところがあり、主旨をあまり明確に読み取ることができない。 • 考えの根拠に妥当でないところがあり、例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。 • 論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されていないところがあり、文章があまり円滑に展開されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。 • 考えの根拠が全く妥当でなく、例示が具体的にでない。 • 論理が不明確で、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。

表記についての採点基準の例

- 原簿用紙の使い方が正しい。
- 誤字や脱字がなく、漢字が適切に用いられている。
- 語句の用法が適切である。
- 文の成分の順序や照応が適切である。

三 1 「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成28年2月29日 文化審議会国語分科会）字形比較表

番号	常用漢字表	代表音訓	配当学年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章Q&A関連項目
(4)	2069	領	リョウ	5	領領領領	4-(1)(3)(6)	Q40,42,61,62,75
	39	域	イキ	6	域域	4-(4)	Q70
(5)	1336	単	タン	4	単単	4-(3)(4)	Q21,62,71
	1498	刀	トウ	2	刀刀		Q72
(6)	1996	要	ヨウ	4	要要	3-(1),4-(1)(6)	Q43,54,58

*関連項目についても確認すること。